

# 仙台市初期救急医療体制の課題

(仙台医療圏) 仙台南 (名取、岩沼、亶理)  
仙台東 (利府、多賀城、塩竈)  
仙台北 (富谷、大衡、大和)

## 【初期救急全体の課題】

- ① 夜間、休日診療所の減少
- ② 医師の確保が困難  
医師の高齢化、協力医師の減少 ⇒ 現担当医の負担が増大  
将来的に、医師の働き方改革の余波 ⇒ 影響大
- ③ 人材の確保が困難  
就職希望者減少 ⇒ 看護師長、看護師不足
- ④ 給与全体の改善、勤務条件の見直し
- ⑤ GW、お盆、年末年始等の繁忙期に受診者が集中 (患者の増加傾向)  
診療までに長時間待たせてしまう問題発生 ⇒ 待ち時間に対する苦情の増加  
(昨年 of 年末、こども急病診療所での待ち時間が数時間に及んだため、在宅 A・B の診療所に患者が集中し 22 時過ぎまで対応に追われた事例が発生)

## 【北部急患診療所の課題】

- 泉区の休日診療所閉鎖後、特に仙台北部 (泉区・富谷市・大衡町・大和町等) の初期救急医療の中心
- 昨年 5 月、新型コロナウイルスが 5 類に移行後内科・外科の 2 診療体制 (小児科休診)  
⇒ 休日診療での受診者が増加

### (施設面の課題)

- ① 民間ビルの 2 階に設置、エレベーターが小さくストレッチャーが入らない。
- ② 立体駐車場のため 収容台数が限られている。
- ③ 診療所が狭隘のため、新型ウイルス等の感染症対策がとりにくい。
- ④ 患者待合室が狭く、待機患者が階段、1 階外の通路まで溢れる。

## 【その他】

- ① 救急協力病院、輪番制 (当直) 病院からの応援態勢強化は可能か? (⇒ 財政支援)
- ② 仙台市立病院内に併設のこども急病診療所: 10 年経過 (⇒ 二次転送がスムーズ)